

高齢者のための嚥下内視鏡検査評価表 Hyodo・Komagane score

ID _____ Name _____ M / F 年齢 _____ 診断名 _____ 検査実施日 _____ / _____ / _____

① 唾液貯留

- 0 : 【唾液貯留無し】 唾液貯留がない。
- 1 : 【喉頭蓋谷唾液貯留】 喉頭蓋谷のみ唾液貯留あり。
- 2 : 【梨状陥凹唾液貯留喉頭腔流入無し】 梨状陥凹に唾液貯留があるが喉頭腔への流入はない。
- 3 : 【梨状陥凹唾液貯留 喉頭腔流入有り】 梨状陥凹に唾液貯留があり喉頭腔へ流入する。

①

② 咳嗽反射の惹起性と声門閉鎖（喉頭蓋先端部に触れる）

- 0 : 【即反射】 1回の刺激で著明に反射が惹起される。
- 1 : 【反射は起こるが弱い】 1回の刺激で反射は惹起されるが弱い。
- 2 : 【反射が起きないことがある】 2～3回の刺激でようやく反射が惹起される。
- 3 : 【反射が起きない】 3回の刺激でも反射が惹起されない。

+

②

③ 水分ゼリー¹⁾（3 ml）嚥下反射の惹起性

- 0 : 【咽頭時反射】 水分ゼリーの咽頭流入が観察できる。
- 1 : 【喉頭蓋谷時反射】 水分ゼリーが喉頭蓋谷に達するのが観察できる。
- 2 : 【梨状陥凹時反射】 水分ゼリーが梨状陥凹に達するのが観察できる。
- 3 : 【梨状陥凹反射遅延】 水分ゼリーが梨状陥凹に達してもすぐには嚥下反射が起きない。

+

③

④ 水分ゼリー¹⁾（3 ml）嚥下後の咽頭クリアランス

- 0 : 【残留無し】 嚥下後に梨状陥凹および喉頭蓋谷に水分ゼリーの残留なし。
- 1 : 【残留あるが処理可】 水分ゼリー残留が軽度あるが、2～3回の空嚥下で wash out される。
- 2 : 【残留あり】 水分ゼリー残留があり、複数回嚥下を行っても wash out されない。
- 3 : 【残留物の流入あり】 水分ゼリー残留が高度で、披裂部を越えて喉頭腔へ流入する。

+

④

*経口可と判定した場合は、実際の開始食（嚥下調整食）の経口評価を推奨する。

①+②+③+④

1) 【評価用ゼリー】・【交互嚥下用ゼリー】 ISOTONIC GREEN JELLY (株) ニュートリー
: 硬さ 5,000N/m² 付着性 89j/m² 凝集性 0.43 (温度 10℃時測定値)

合計

コメント

判定基準（4項目スコア合計）

- 7点以下：
経口摂取可（ペースト食）
- 8点：
リハビリ等にて経口摂取の
可能性検討
- 9点以上：
経口摂取困難